

総務常任委員会

漁業就労のため

移住された方々と意見交換

7月5日、綾里地区に漁業を生業として移住された方々とそのご家族や船主と意見交換を行いました。漁師になる契機は、「未経験だからこそ経験したかった」、「盛岡で開催された漁師フェアでの船主との出会い」等、自分への挑戦や意気込みによるものと話されました。ご家族からは「住みやすい住居や結婚し子育てしやすい環境が広く整っていることが大切」等、ご苦労された経験から多くの示唆を頂きました。特にご家族同様に生活を支えている船主の存在が大きいとの意見がありました。

移住者支援の成果が表れてはいるものの、今後の支援の在り方や制度改正の必要性など課題解決に向けた意見交換の場となりました。

また意見交換に先立ち、綾里小学校での出前授業や空き家を改修した住居を視察しました。



教育福祉常任委員会

7月12日～14日に、長野県原村、埼玉県幸手市、栃木県小山市の行政視察を行いました。原村は、全国的に知られる人口増加が続いている村です。首都圏・中京圏からのアクセスの良さを活かし、移住・交流の推進を図る一方、18歳以下の医療費や各種検診の無料化などの子育て支援対策や、66歳以上の医療費無料化に取り組むことで広い世代での移住・定住促進に成果を上げていました。

幸手市では、地域住民主体のサロン「暮らしの保健室」等によって身近に医療・介護の相談が出来る場づくりに取り組んでおり、さらに、認知症施策や生活支援対策、介護予防推進の体制整備に力を入れることで、独自のシステム（幸手モデル）構築を目指していました。

小山市では、巡回相談や教育支援の充実、生活困窮者やひとり親家庭の生活の安定が図られるよう就労相談や資格取得のための給付の充実、さらにはひとり親家庭ファミリー・サポート・センター利用料助成など子供の貧困対策に力をいれており、また、空き店舗のスペースを使い「キッズランドおやまをオープンし、雨の日でも親子で遊べる場所を提供していました。



産業建設常任委員会

7月5日～7日に、京都府及び舞鶴市、宮津市、京丹後市の行政視察を行いました。舞鶴市では、府と市が協力し多くのクルーズ船の寄港に結び付けている実態や課題点を研修しました。

宮津市では、天橋立を中心とした観光まちづくりに伴い通過型から滞在型の観光を目指す取組について研修しました。観光客の誘致に向け、京都北部自治体と観光協会等が連携し「海の京都DMO」を設立する等、先駆的な取組も見受けられました。

京丹後市では、交通アクセスが不利な状況下において企業誘致を図るため、市独自の優遇制度を設け、誘致企業がより魅力を感じられる取組に重点を置いていました。

京都府のジョブパークでは、全国初の試みとして、国や府等の関係自治体及び労使共同で施設を運営し、職業紹介や就業後の定着支援まで、ワンストップの一体的な流れで就労支援を行っている様子を研修しました。



第6回奥州市議会・陸前高田市議会・大船渡市議会議員研修会を開催

7月24日、第6回奥州市議会・陸前高田市議会・大船渡市議会議員研修会を陸前高田市において開催しました。本研修会は、平成24年度から、3市の議員が一堂に会し、相互に関係する課題等について、研修や意見交換を行い、連携を図り、市政の発展に寄与することを目的に開催しています。

研修会では、講師に盛岡地方気象台次長井上真吾氏を招き、「大雨による災害と防災気象情報の活用について」と題し、近年の大雨災害の特徴や防災気象情報の活用、災害から身を守るための避難行動の原則について講演をいただきました。



復興特別委員会 復興の進捗を確認

復興特別委員会（議長を除く19名で構成）では、2月に市長に対し、復興に係る諸課題に対する提言をまとめ、第1次提言書を提出しており、7月31日、提言項目に対する対応状況について市から説明を受けました。

議員からは、永浜・山口地区の企業誘致についてや被災跡地の利活用についてなど、様々な質問が出されたほか、市側からは、災害公営住宅では自治会が順次、設立されてきていること、応急仮設住宅支援協議会等が、市営・県営の区別なく、団地内の集まりの企画を支援するなど、同等の支援にあたっていることなど、復興事業の進捗や現状が報告されました。

大船渡市議会国際リニアコライダー（ILC）誘致推進議員連盟で研修会

8月2日、全議員で構成する市議会ILC誘致推進議員連盟では、岩手県理事兼科学ILC推進室の佐々木淳室長を講師に招き、「ILC（国際リニアコライダー）の実現に向けて」と題して、講演をいただ

き、ILC実現による地域経済への影響や研究成果の医療への応用など、広範な波及効果について聴講しました。

講演後は、地域の役割や港湾活用、道路整備などについて活発な意見交換を行うとともに、議員連盟として、関係機関・団体等と連携を深めながら、誘致実現に積極的に取り組んでいくことを確認しました。



第52回気仙地区議会議員協議会総会等を開催

8月23日、大船渡市民交流館・カ

メリアホールを会場に、第52回気仙地区議会議員協議会総会及び研修会を開催しました。

気仙地区議会議員協議会は、大船渡市、陸前高田市、住田町の議会議員をもって組織され、相互の共通する課題等の解決に向けて取り組み、地方行政の振興発展に資することを目的としています。総会では、9つの要望項目を可決し、今後は関係機関に要望活動を行うことを決定しました。

その後の研修会では、講師の公益財団法人さんりく基金／三陸DMOセンターの観光プロデューサー北田耕嗣氏から「気仙地域の観光振興について」と題し、講演をいただきました。

